

「目標設定の背景・理由」

- ① 「目標設定の背景・理由」に個別計画の名称（保育サービスの整備・運営及び提供体制に関する全体計画）を記載するのはおかしい。そもそもここに記載するのは背景や理由なので具体的な計画を記載するところではない。よって、『保育サービスの整備・運営及び提供体制に関する全体計画』に基づき」という文言は削除すべきである。
- ② 「目標設定の背景・理由」のところに現状の公立保育園民営保育園の連携が十分でない文言をいれるべきである。「民間保育所との連携を強化し」では、現状連携ができていような印象を与えるが、現状ではそのような仕組みは存在しないし、公民の連携はできていない。現状ができていないからこそ、「個別目標が達成された状態」の項目に「公・民保育施設の連携・役割分担ができていいる」という文言が入るのではないのか。
- ③ 「地域での子育てネットワークが強化されている」と「個別目標が達成される状態」にあるが、その背景・現状についてどう認識しているのか説明を追加していただきたい。
- ④ 成果指標の所に「基幹型」という言葉出ているのも関わらず、この「基幹型」に対する説明背景が全くない。基幹型が必要な背景、理由をきちんと説明していただきたい。

「個別目標が達成された状態」

- ① 「個別目標が達成され状態」のところで「公・民保育施設の連携、役割分担ができていいる。」とされているが、具体的に何を指しているのかわからない。公の役割と民の役割をどのように考えているのか。
- ② 「個別目標が達成された状態」のなかに保育の質の維持、向上についての文言がない。そもそも子育ての制度・施設を整備し社会的支援を拡充した、という重点目標を達成するには、子どもたちが育つ保育園・学童においての保育の質の維持・向上が必要不可欠である。よって「保育園・学童においての保育の質が維持・向上できる仕組みが整っている」の文言を入れていただきたい。
- ③ 「個別目標が達成された状態」に施設の狭隘状況の解消、施設の耐震強度の保障など、施設面での目標が多い。もちろん施設の充実、待機児童解消は大切な問題であるが、保護者にとっては学童においても保育所においても「保育の質」は重要な問題である。保育の質が担保された状態、という文言を入れていただきたい。

「施策の方向」

- ① 「施策の方向」のところで「ていねいな説明会」や「ていねいに実施する」という文言があるが、ていねいな説明の目的は保護者が納得できるということである。「保護者が納得できるようにていねいな説明」に文言を追加していただきたい。
- ② 「施策の方向」のところで「計画的に民営化を行う」とあるが、この表記では保護者と在園児が置き去りにされてしまっている印象を受ける。「市民との協働」という文言を入れていただきたい。
- ③ 個別目標「保育・療育サービスを充実します」という目標のために保育園が民営化という手法が取られるのか、その関連が見えない。これまでに例のない基幹型保育所システムで「保育・療育サービスを充実」できる担保なり実績がない以上、個別目標の達成は不可能なため、この計画案自体を見直すべきである。
- ④ 「該当する園の保護者へていねいな説明会を行う」とあるが、保育園は保育園保護者だけの物ではないので、説明対象をもっと広げるべきである。よって「保護者」を「関係

者」に変更していただきたい。

- ⑤ 「目標の設定背景・理由」に「国分寺市全体の保育の質の維持・向上を図る仕組みを具体化していく必要があります。」とあるが、その具体的な仕組みが「施策の方向」にある「実施予定前に3カ年程度の期間を設け、保護者参加による民営化ガイドラインを策定し、十分な保育引き継ぎを行うなど、ていねいに実施する」ではシステムとしてあまりにも貧弱であり、かつ具体性に欠ける。保育の質を担保する仕組み、というよりは、単なる引き継ぎの仕方を明記しているだけである。保育の質を担保できる仕組みがないなら、この計画案自体に欠陥があるゆえ、計画自体を見直していただきたい。
- ⑥ 「個別目標が達成された状態」に「公・民保育施設の連携・役割分担ができています。」とあるにも関わらず、施策の方向には「公・民連携」についての具体的な施策が何もない。具体的にどうやって「公・民連携」をしていくのか。これまで実績のない「公・民」連携の実現と公立保育園が民営化されこととの関連が不明である。その根拠に乏しく、この計画は国分寺市の保育の後退といえる。よってこの計画自体を凍結すべきである。
- ⑦ 「子ども施策の進捗状況を明らかにし、総合的な推進を図るため、子育て・子育てに関する附属機関を設置する」とあるが、この附属機関を設置する目的、または機能は何なのか。その目的は「保育の質の担保」ではないのか。もし保育の質を担保する目的であるならば「総合的に推進」という言葉はそぐわない。

「成果指標について」

- ① 施策の方向に「子ども家庭支援センター及びこどもの発達センターつくしんぼの相談事業の充実を図る」とあるが、具体的な成果指標には反映されていないので、指標として明記していただきたい。
- ② 「指標の説明」に突然「基幹となる保育所等の機能や条件を整え・・・」とあるが、この基幹となる保育所等の位置づけがどこにもなく、それが保育の質を保証できる根拠はどこにも見受けられない。そのような仕組みをもつ本計画自体に欠陥があると言わざるを得ない。よって本計画の再度見直しを要求する。

「その他」

- ① 「計画の見直しに当たって」において、国分寺市を「移転したい」と考えている理由に「医療や福祉が充実していない」という点が上げられている。その意向結果を踏まえて後期計画見直した、とあるが「福祉の充実」を目指す国分寺市がなぜ保育分野からの撤退を目指すのか。この後期計画の見直し自体が間違っているとしか言いようがない。保育園民営化を目指す本計画自体について反対する。
- ② 個別目標が「保育の質・療育サービスを充実させます」でありながら、「保育の質」を担保する為の具体的な施策に欠けている。ということはこの長期計画自体に欠陥があるということである。そのような計画には賛成できかねる。
- ③ 「防災に強いまち作り」というようなキャッチコピーが本計画のあちこちで語られているが、その目的を実践するのであれば、保育園民営化は誤りである。広い園庭や給食室を備える公立園の存在は地域の住民にとっても心強いはずだ。よって防災の観点から考えると、本計画は「保育・療育サービスを充実します」という個別目標の設定にそぐわない。よって施策の方向、「保育園・児童館・学童保育所の運営については、計画的に民営化を行う」、の部分は削除していただきたい。

- ④ 国分寺市は個人からの税収が多い、と説明会で話があった。それなのになぜ福祉政策を後退させるのか。